

今日もJALグループの翼をお選びいただき、ありがとうございます。

先日、会議で同席した仲間が見慣れぬポシエットを下げていました。落ち着いたシルバーが目に残り聞いてみると、なんと廃材のアルミ缶のプルタブでできているそう。確かによく見るとプルタブが丁寧に編み込まれています。こんなにお洒落で機能的なものに生まれ変わるなんて……と心を打たれました。

捨てられるはずだったものに新しい価値を与える「アップサイクル」の技術や発想は世界中で磨かれていて、化粧品がクレヨンに、タイヤがサンダルに、ストローが水着にと、驚きの生まれ変わりを遂げているものがたくさんあるようです。

JALグループでもユニークな航空機アップサイクルに挑戦中で、客室の窓を生かしたお洒落な椅子や、貨物

代表取締役社長
グループCEO

鳥取三津子

とっとりみつこ / 1964年、福岡県久留米市生まれ。1985年4月入社(客室乗務員)。2019年に客室安全推進部長(客室乗務員)に執行役員、客室本部長、2022年に常務執行役員、客室本部長、2023年に専務執行役員、カスタマーエクスペリエンス本部長に就任。同年6月に代表取締役専務執行役員、グループCEOに就任し、翌2024年4月から現職。趣味は音楽鑑賞と大河ドラマを見ること。



た び と り ど り

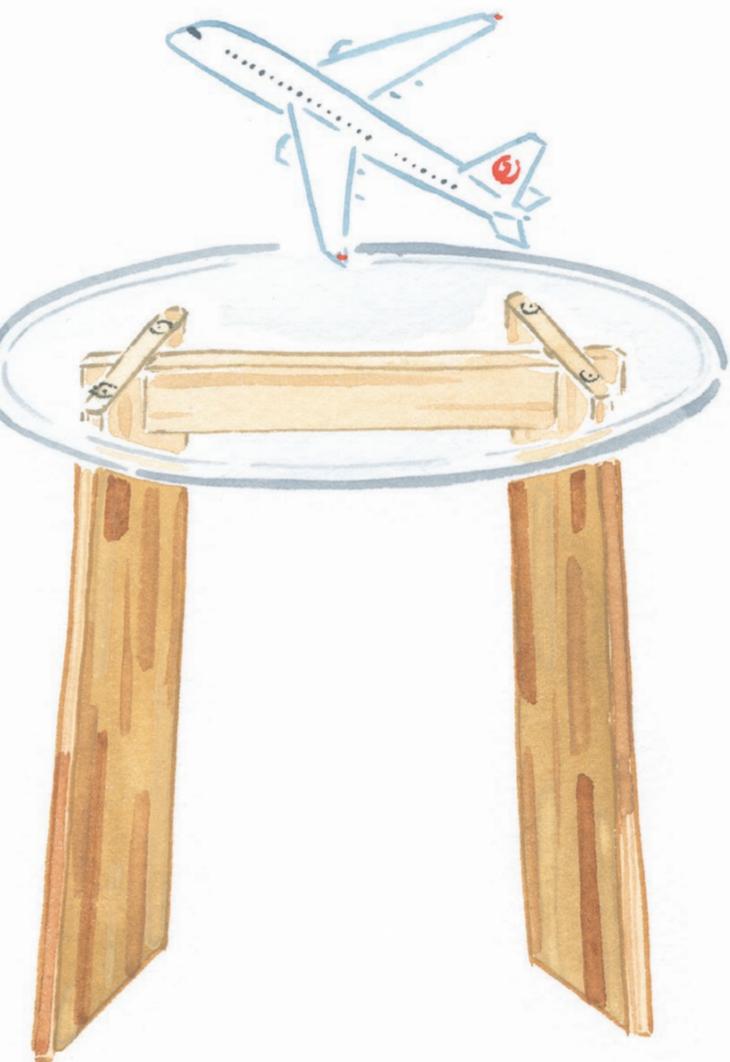
室の壁紙を使った上質なカードケースなど、空での役割を卒業して第二の人生を歩むものたちが出てきました。飛行時間にして4万5000時間お客さまのお供をし、社員たちが一生懸命手入れしてきた機体の一部。別の形でお客さまと時を重ねられることを思うと、とても愛おしく、そして頼もしくも感じるものです。

他にも、ラウンジで抽出後のコーヒー粉をクラフトジンやタンブラーに生まれ変わらせるなど、既存の概念に捉われず、さまざまなジャンルのアップサイクルの模索を続けています。

お客さまと一緒に、心から楽しみながら地球にやさしいことを増やしていきますように。

次回のご搭乗も心よりお待ちしております。

イラスト / 山本祐布子



生まれ変わって